



大村市立福重小学校 学校だより

# みどり

令和4年12月15日(木)

文責：校長 田中 康隆

目指す児童像：⑤るさとを愛する子・④ふうする子・③んせつな子・②んきな子

## 学校評議員会・学校支援委員会を開催しました

11月21日(月)学校評議員会、学校支援委員会を開催し、地域の方々と学校運営について話す機会をもちました。

学校からは、150周年記念式典・集会の報告と学校評価アンケート結果について報告をしました。

その他、会の中で話題になったことは、概ね以下の通りです。

○記念式典第2部で1年生が来賓席の前に立ったとき、見えやすいように自分の立ち位置を変えてくれた。このように気遣いのできる子供が育っていることが嬉しい。学年の出し物も、単によくできていたということでは片付けられない心に訴えるものがあった。

○地域で出会ったときに挨拶をしてくれる子供がいる。ある時、田んぼにいる鷺(さぎ)にまで挨拶をしている子供がいた。感性の豊かさに驚いた。

○地道に毎朝こちらから挨拶をすることで、子供たちも挨拶を返すようになった。

○挨拶はするが、声が小さいように思う。

今後も、「あいさつは おとなも 子どもも じぶんから」を合い言葉に、人と人を結ぶ挨拶ができる子供たちを育ててまいります。

## 演題「メディアと視力」、学校保健委員会講演会を開きました

11月25日(金)授業参観・懇談会・学校保健委員会を開きました。

学校保健委員会では、佐々町尚時堂株式会社 代表取締役中村 尚広様にご講演をいただきました。中村先生は、両眼視スキルアップ研究所所長、SSS級認定眼鏡士という肩書きをお持ちです。視力・視覚機能の専門資格者で、眼が正しく機能しているか、正しく眼で捕らえているかなどを重要視したビジョンケア活動を行う「眼の専門家」です。様々な場所での講演活動や、スポーツビジョントレーニングの専門家としてプロやアマチュアのスポーツの世界でもご活躍です。

今回は、「メディアと視力」の演題で、子供の視力低下の原因のほとんどが、生活環境によるものだというお話をいただきました。具体的な数値を示したり、実際に体験させたりして、わかりやすく話し手くださいました。特に「夜更かし」「テレビ・ゲーム・パソコン」「姿勢」「外遊びの減少」「ダイエット」は、原因の上位を占め、子供たちのために私たち大人が気をつけることで深刻な事態を回避できることをご示唆いただきました。

## 実りの秋 その3

11月19日(土)竹灯籠祭り、27日(日)ウォーク大会・秋祭りが、福重地区で開催されました。PTAはじめ保護者の皆様と地域の皆様で力を合わせて子供たちのために開催してくださっていることに頭が下がります。子供たちの学校とはまた違った顔、明るく元気な顔、嬉しそうな顔をあちこちで見ることができました。

